

今回紹介する団体：水土里ネットやまなし

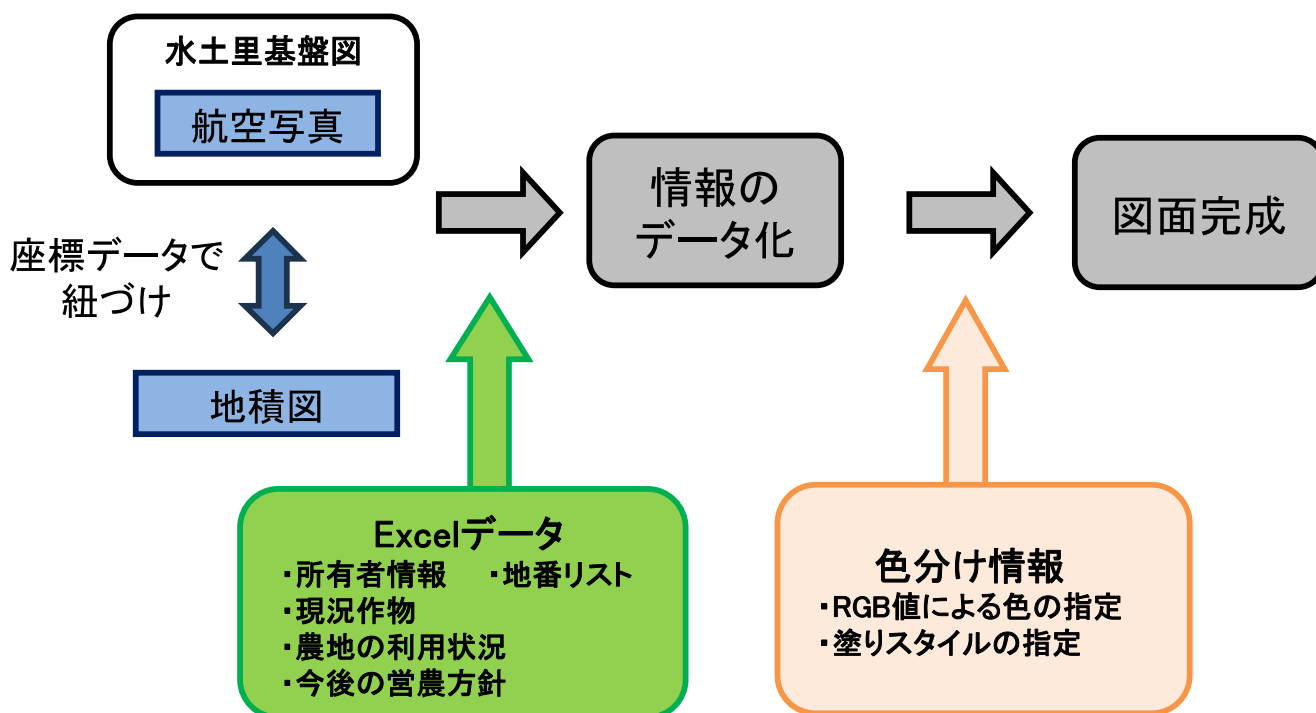
取組概要

【内容】

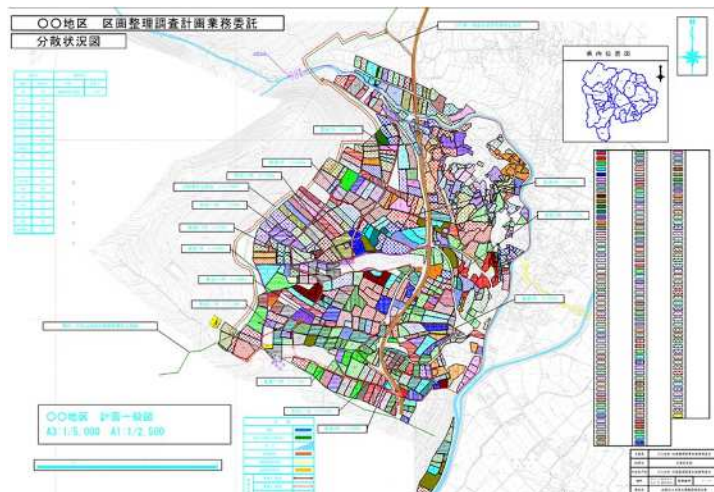
ほ場整備計画の作成時、計画実施に向けた地元との合意形成を円滑に支援するための資料作成をGISを用いて効率化を図った。

【経緯】

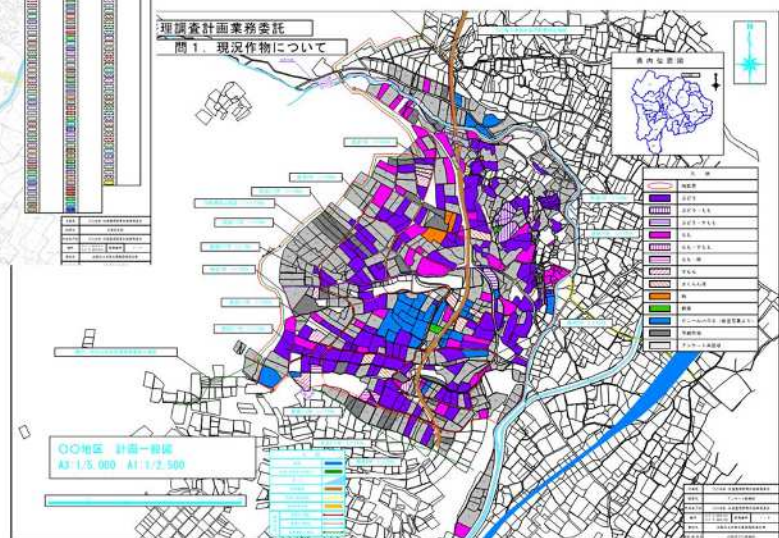
1. 水土里ネットやまなしでは、以前より、ほ場整備実施に向けた業務委託として、水土里情報利活用推進事業で整備した水土里基盤図（航空写真）や地元地権者の所有者情報やアンケート結果を用いて資料作成を行ってきた。
2. 資料作成にあたって、地区内の情報を可視化するため、各筆の地権者名、農地の利用状況、現況作物、今後の営農方針等の情報を図面に反映しており、この作業について、各筆ごとに手作業で色分けを行う必要があった。
3. そこで、使用したGISの「Excelデータをシェープファイルの属性情報へ付加する機能」や「項目別に図形を色塗りする機能」を用いて図面作成の効率化を図った。



作成した図面



各筆の地権者情報
(分散状況図)



現況作物について

取組による効果

従来であれば、対象エリアの筆数に応じて1日から2日ほどかけていた作業が、半日ほどで作業可能となった。また、Excelデータとシェープファイルを関連付けることにより、情報を修正した際の図面データへの反映も容易となった。

今後の活用予定

作業手順が多いため、マニュアルを作成して本資料を作成する担当者へ周知し、業務効率化に向けて支援する必要がある。

GISシステムのバージョン情報

SIS ver7.1

ScanSurvey VC5

■お問い合わせ先

山梨県土地改良事業団体連合会 事業部 事業課 055-235-3677(直通)